

既存下地	コンクリート躯体防水	改修仕様	NCA-603TC
採用理由	JR本線沿いの市営住宅の屋上で風当たりの強い場所であり、防水が飛散して電車を停めることが無いよう密着性が良く、また冬場の寒い時期でも施工ができる防水ということで採用された。		

施工現場全景



施工前



施工後

物件	市営住宅屋上防水改修工事		
面積	平面部 345 m ²	立上り部 30 m ²	合計 375 m ²

ドレン周り、部分処置部分



施工前

施工前状況

PC笠木の立下りに段差があるため防水が貼りづらい状況。



施工中

対処方法

段差を無くしたことによって防水の貼り付けが簡単にできた。



施工後

完成の状態

PC笠木の天端まで防水を巻き込み、アルミアングルで取付けたので、漏水の心配が無くなった。